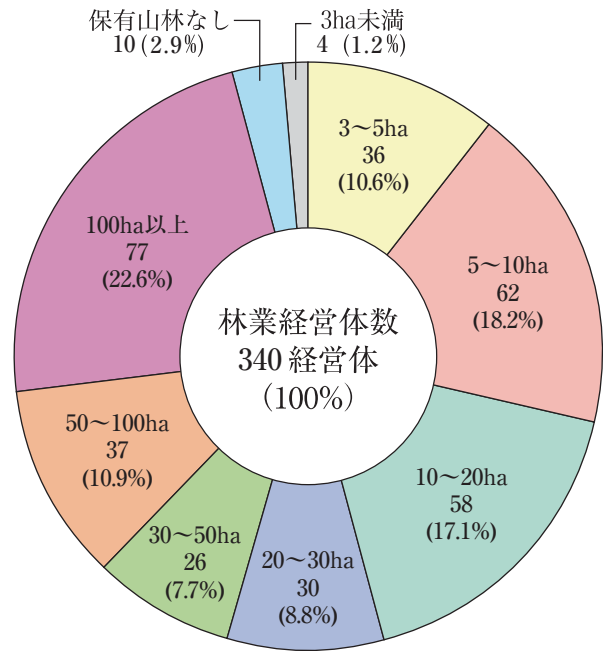


## 2 林業部門

### 1) 林業を担う経営体（林業経営体）

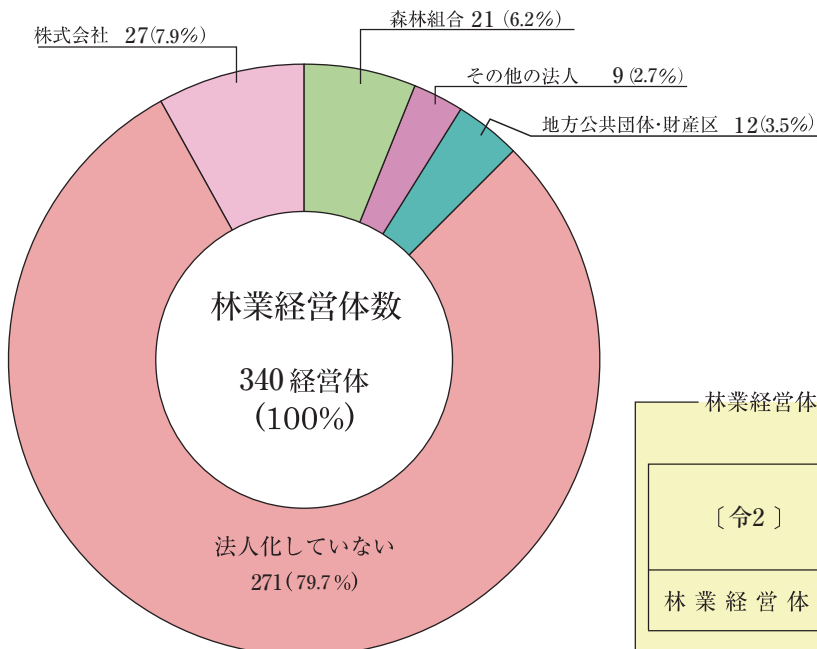
本県の林業経営体数は、340経営体となっており、保有山林規模別では、集約化が進み30ha以上の経営体が総数の41%を占め、前回調査より18ポイント高くなっている。  
また、組織形態別では、法人化していない経営体が79%を占めている。

保有山林規模別林業経営体数



(2020年農林業センサス)

組織形態別経営体数



(2020年農林業センサス等)

林業経営体数

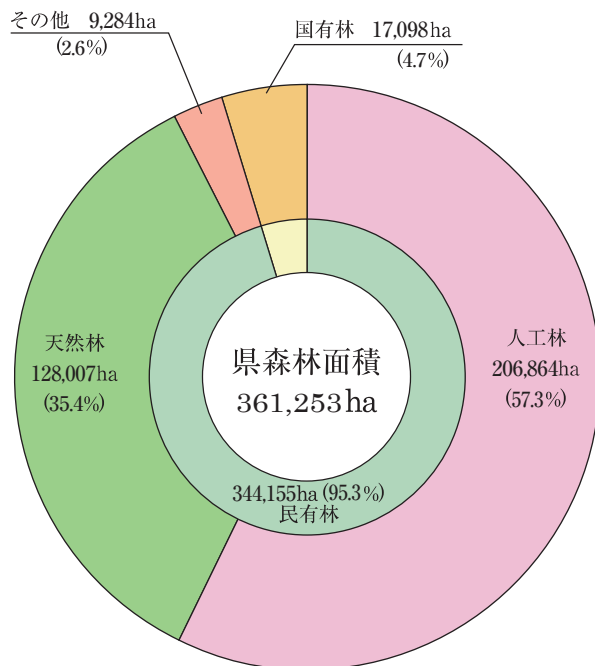
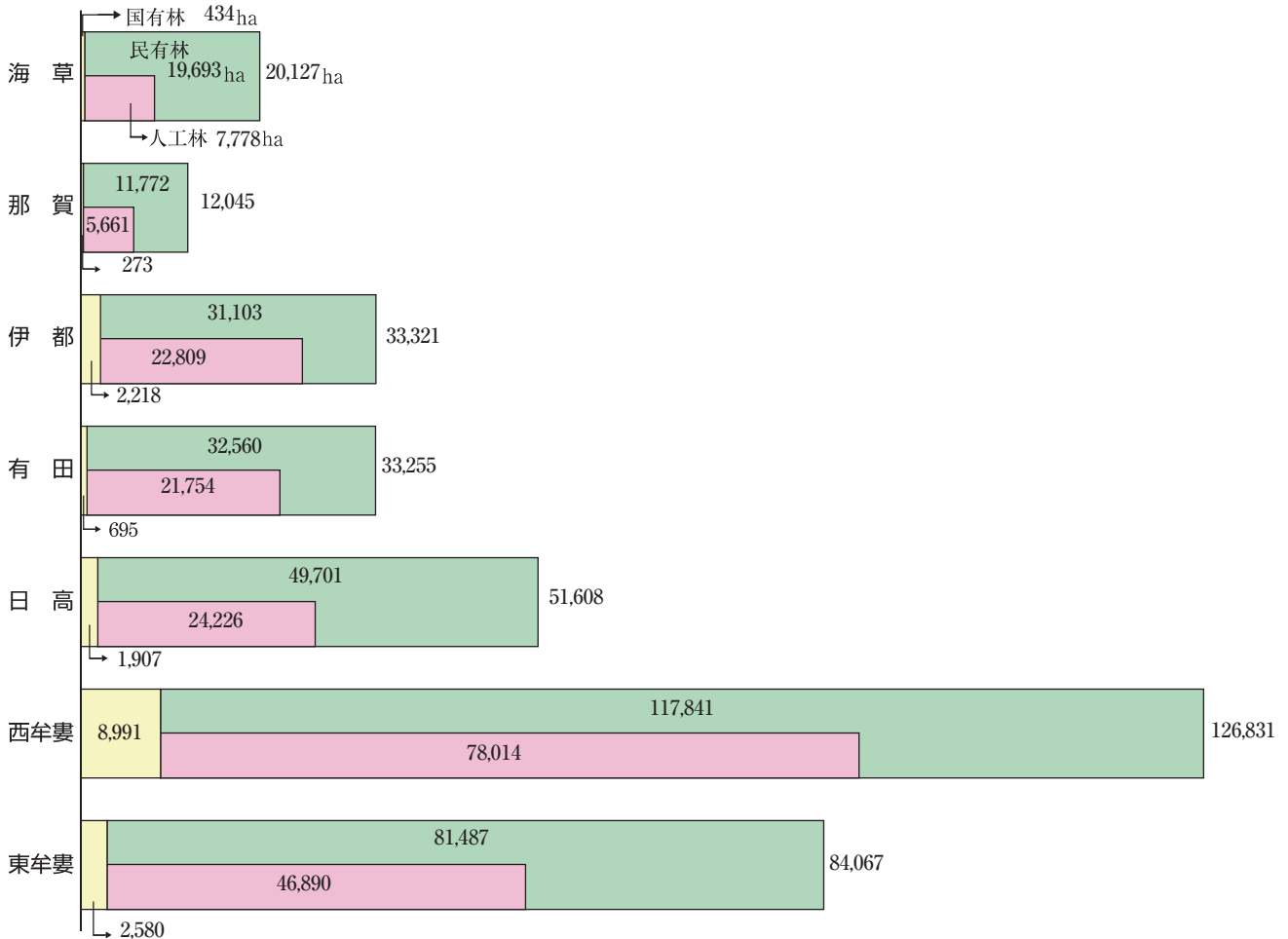
〔令2〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
林業経営体数	34,001	340	35	1.0	北海道	宮崎	岩手

(2020年農林業センサス)

## 2) 森林資源・林業生産基盤

### 地域別・森林面積（令3.4.1現在）

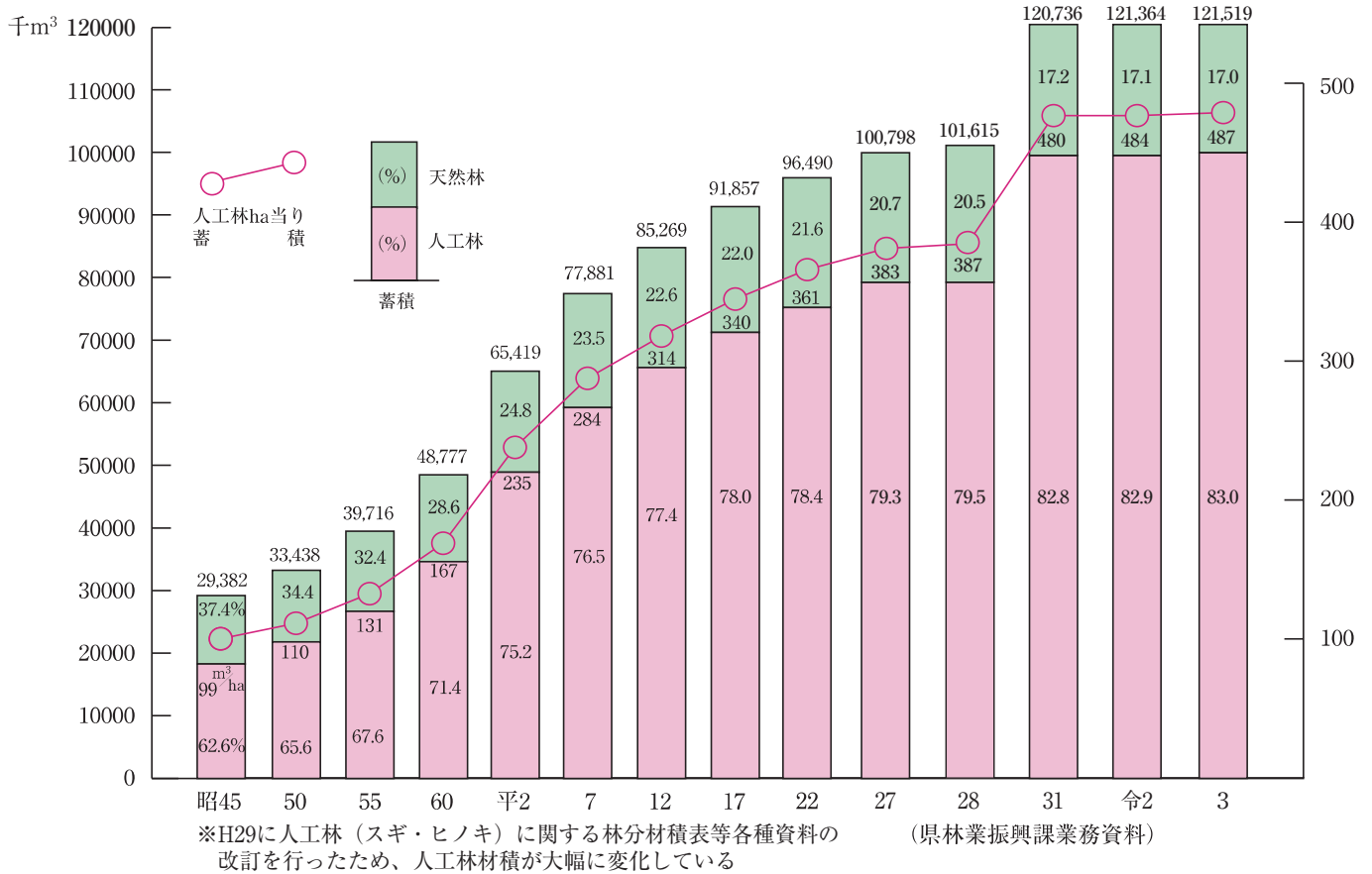
県の森林面積 361,253ha のうち、国有林は 4.7%、民有林は 95.3%です。県の森林面積の 57.3%が人工林です。



(県林業振興課業務資料)

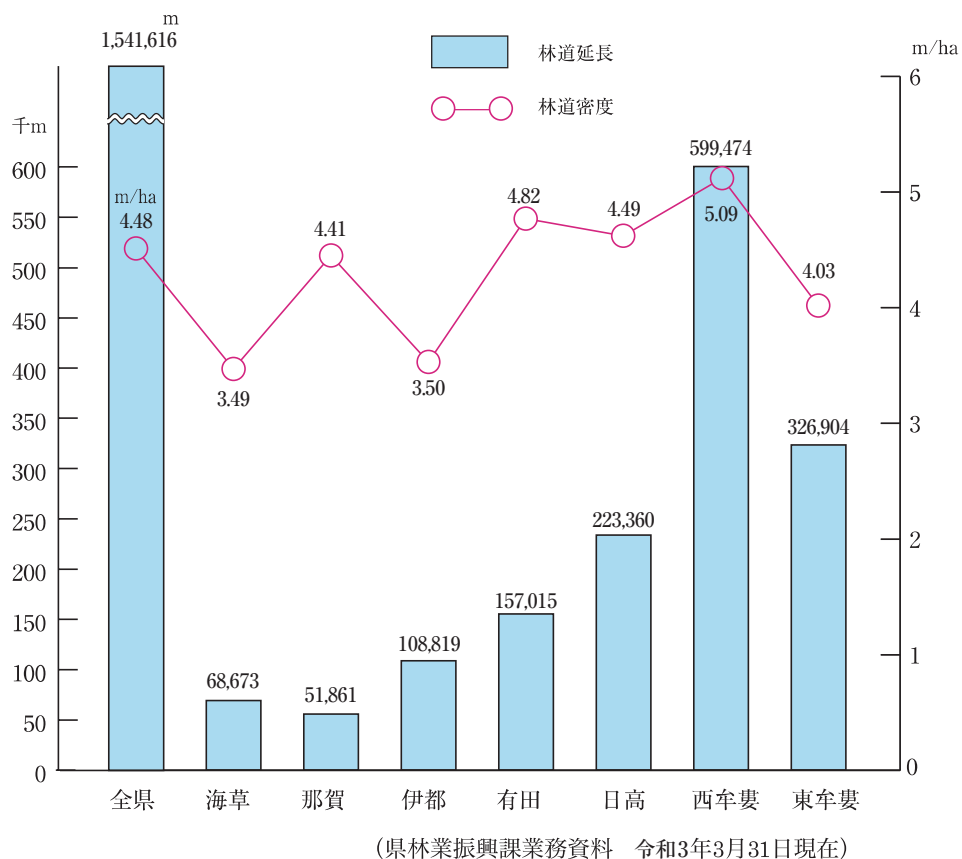
## 森林資源（私有林蓄積）の推移（地域森林計画対象森林：343,057ha）

戦後植林された森林資源が成熟している。



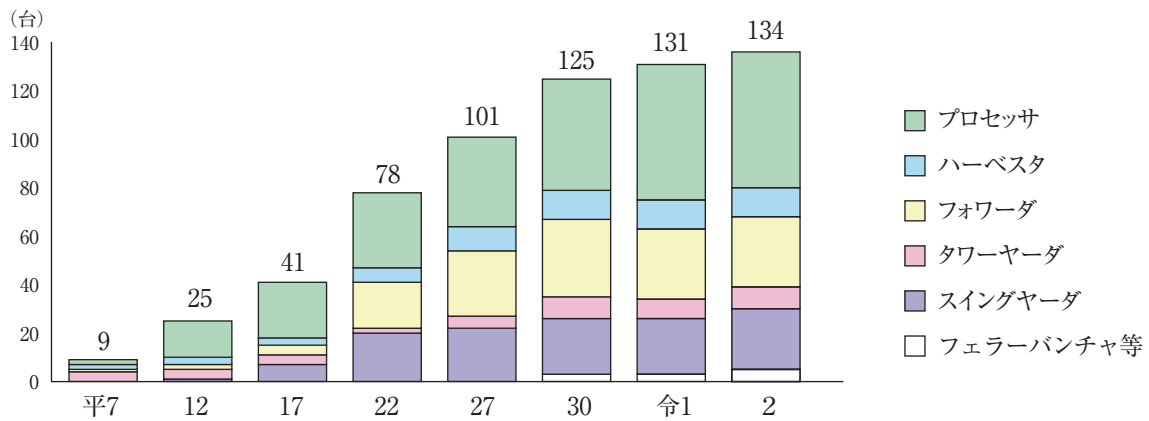
## 地域別私有林林道延長及び林道密度（令3.31現在）

生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



## 高性能林業機械保有台数 (令 3.3.31 現在)

低コスト林業を推進するため、高性能林業機械の導入を進めている。



単位：台

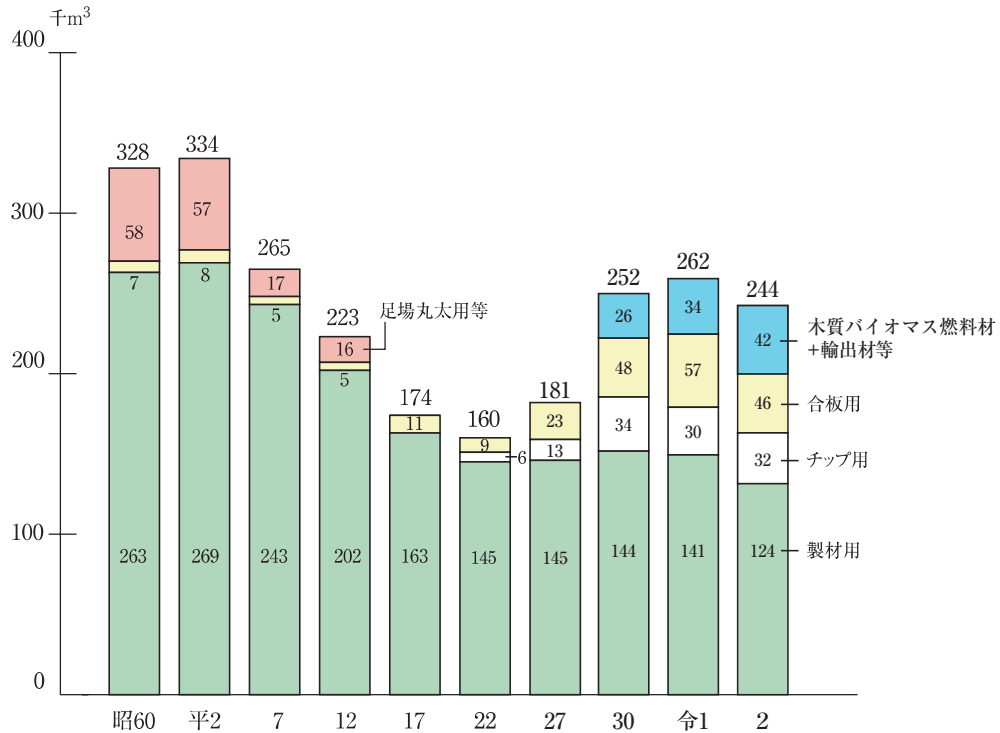
機械種名	平7	12	17	22	26	27	29	30	令1	2
プロセッサ	2	15	23	31	31	37	41	46	56	54
ハーベスタ	2	3	3	6	10	10	10	12	12	12
フォワーダ	1	2	4	19	25	27	31	32	29	29
タワーヤーダ	4	4	4	2	5	5	7	9	8	9
スイングヤーダ		1	7	20	22	22	22	23	23	25
フェラーバンチャ等							3	3	3	5
計	9	25	41	78	93	101	114	125	131	134

(県林業振興課業務資料)

### 3) 林業生産

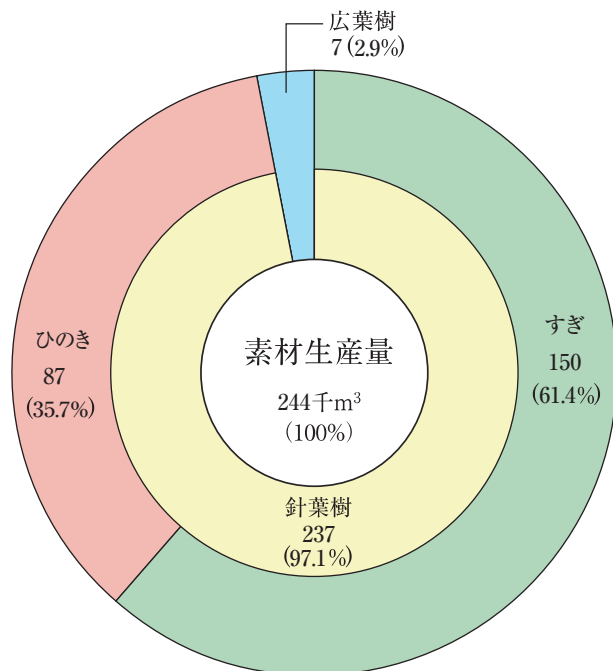
近年では、合板用や木質バイオマス用など木材の用途が増え木材生産活動は、増大傾向である。令和2年度は新型コロナの影響により素材生産量が減少した。

#### 用途別素材生産量の推移



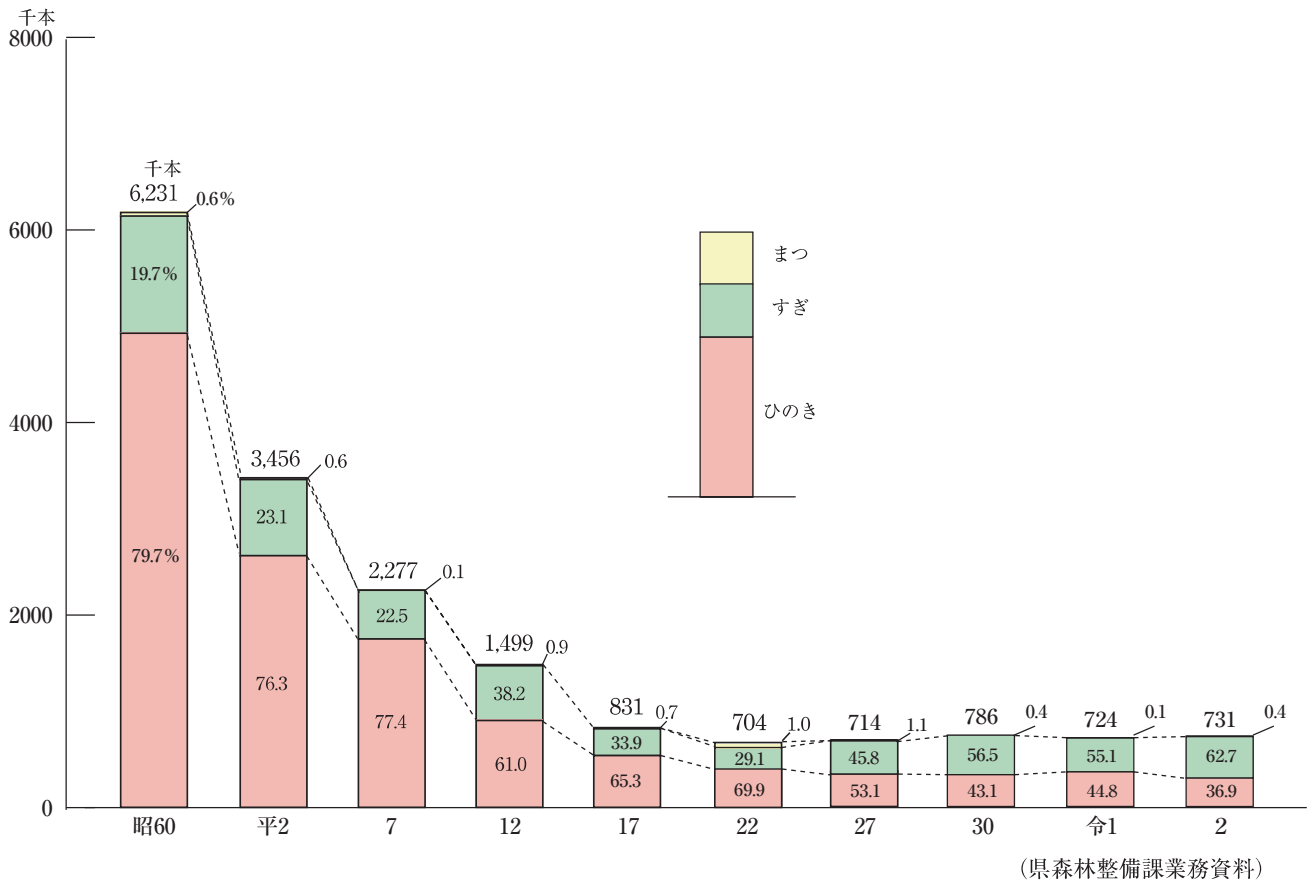
※H28から木質バイオマス燃料材+輸出材等を (木材需給報告書、木質バイオマスエネルギー利用動向調査、  
集計に追加しました。 県林業振興課業務資料)

#### 樹種別素材生産量 (令2)

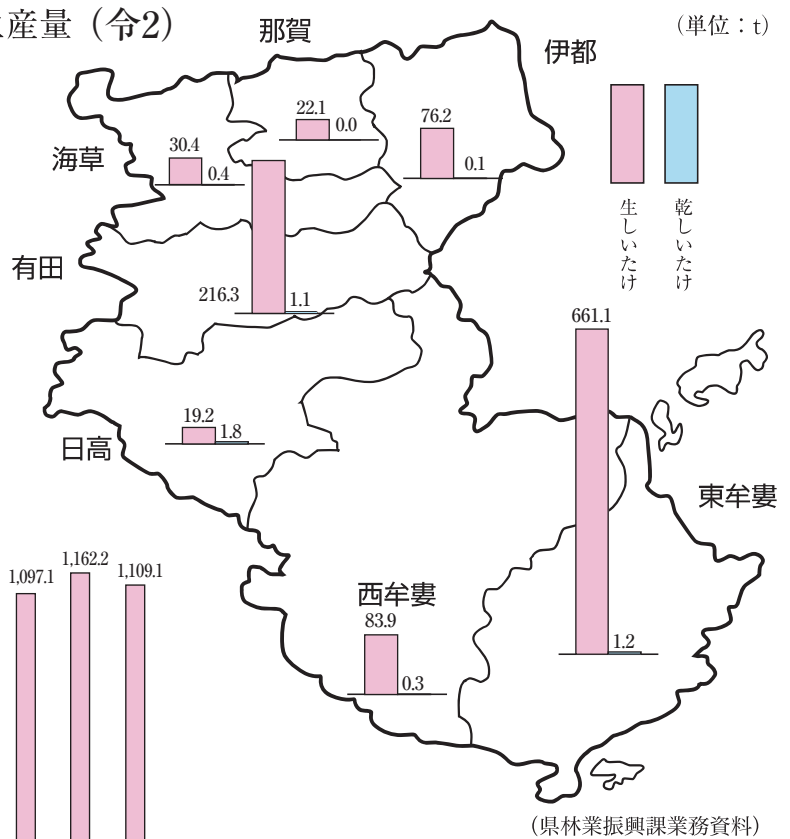


(県林業振興課業務資料)

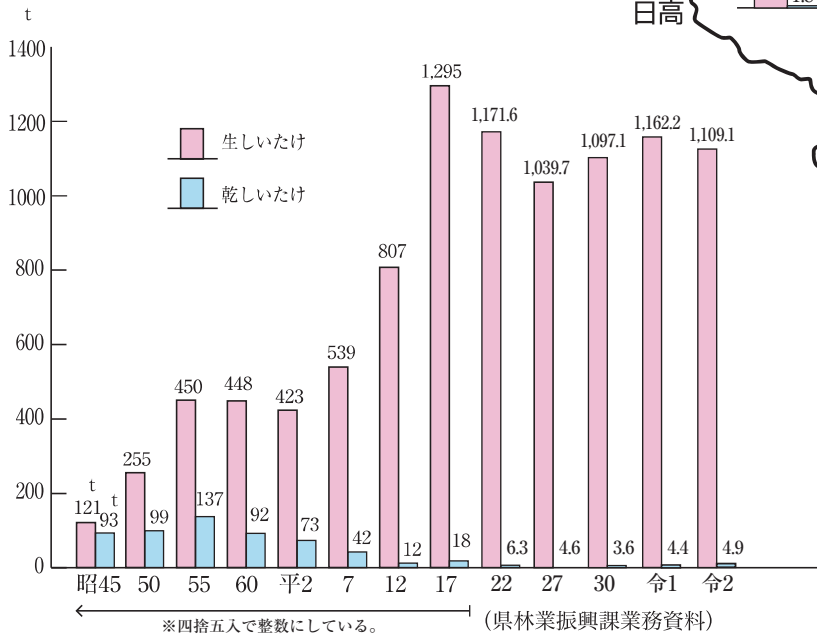
# 山用種苗生産本数の推移



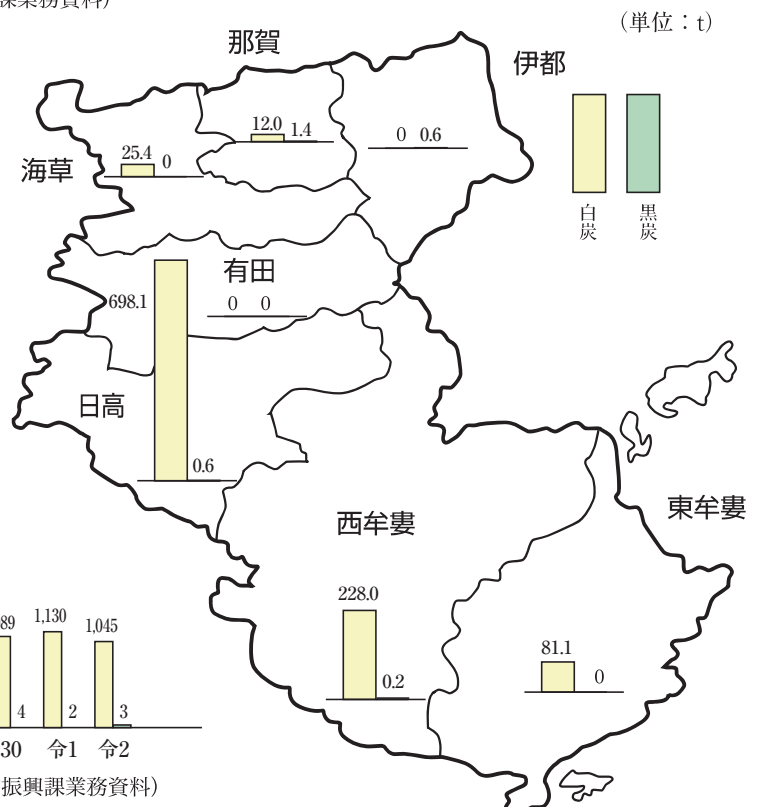
## 地域別・しいたけ生産量（令2）



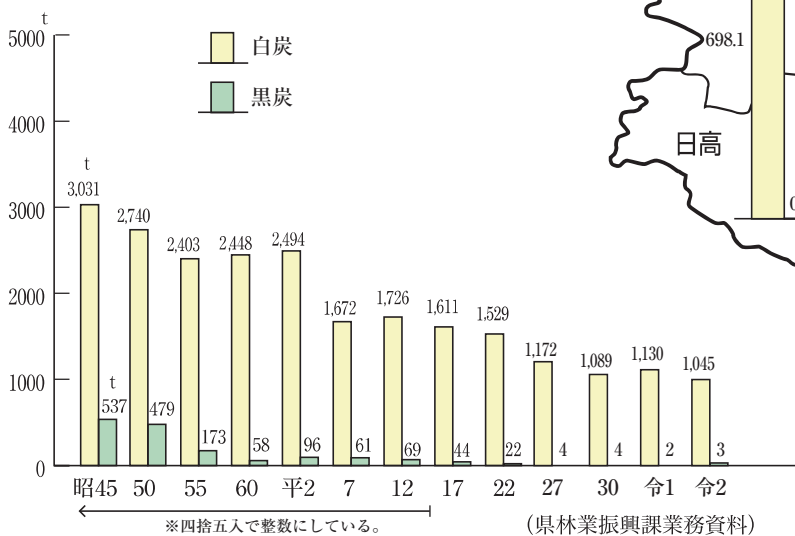
## しいたけ生産量の推移



## 地域別・木炭生産量（令2）

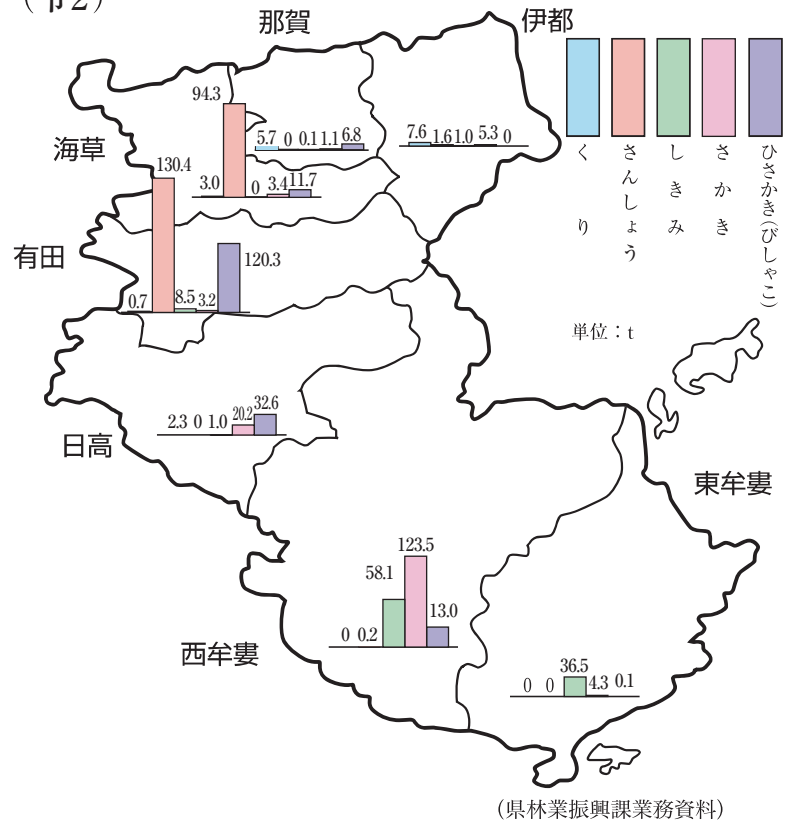


## 木炭生産量の推移

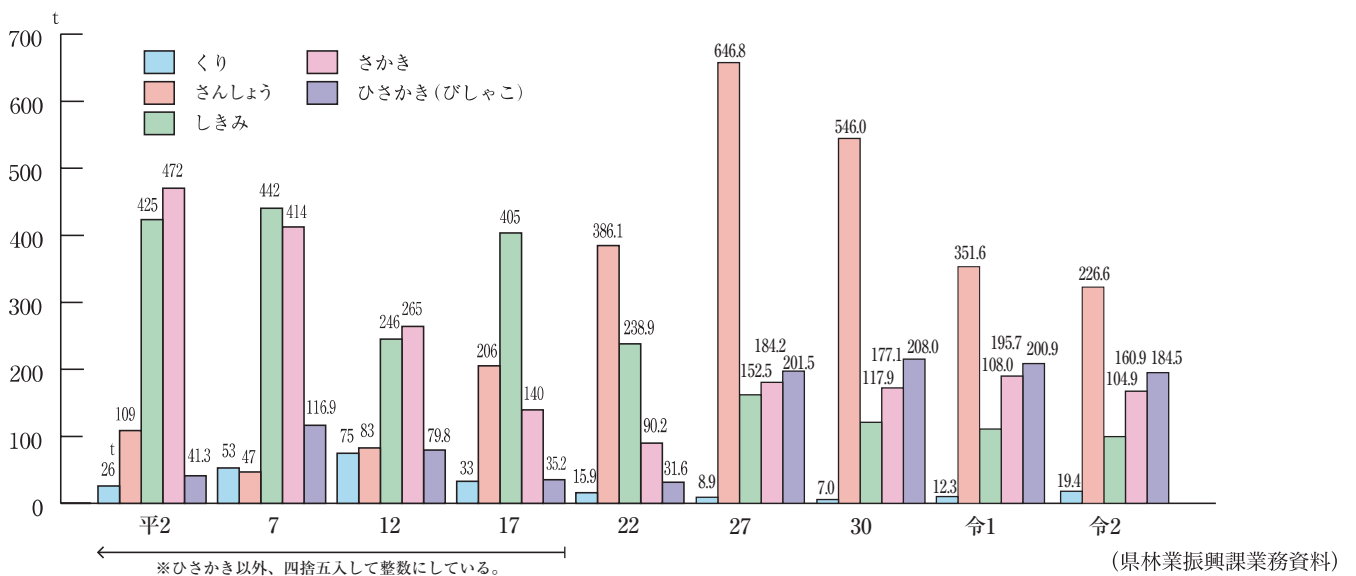


木材による収入が減少する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

## 地域別・その他特用林産物生産量（令2）



## その他の特用林産物生産量の推移

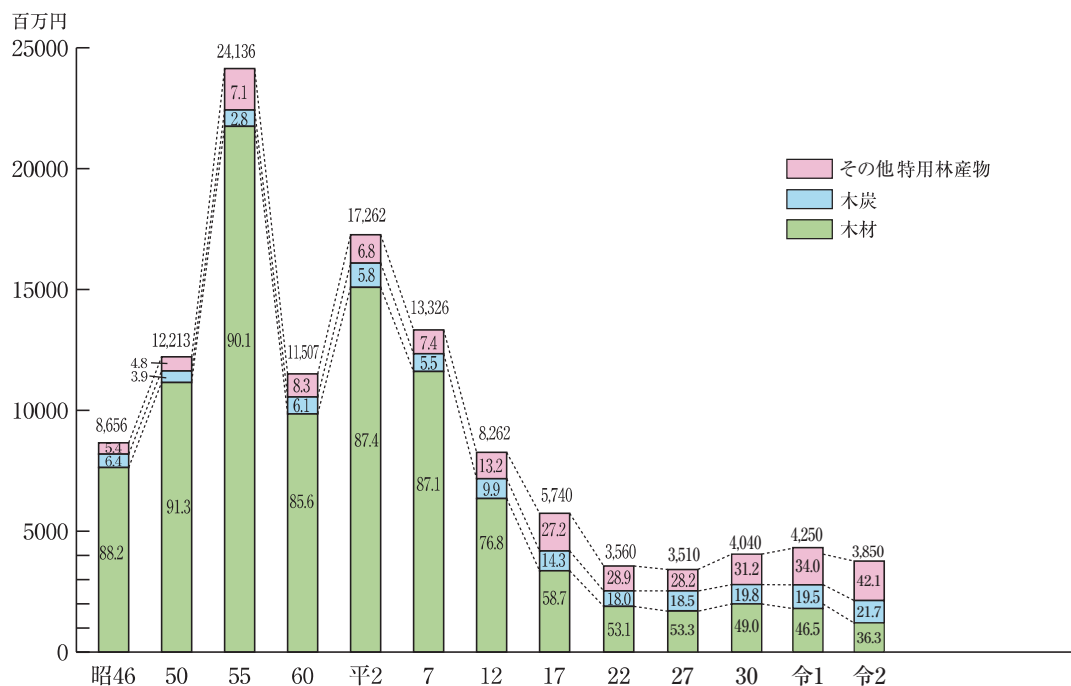




## 4) 林業産出額

素材価格がピークであった昭和55年から減少後、平成27年以降からは増加傾向にある。令和2年は素材生産量が減少したことなどから前年と比較して、4億円減少している。

### 林業産出額の推移



(林業産出額)

※枠内の数字はパーセントを表す

### 産出額

〔令2〕 (千万円)		全国	和歌山県		1位	2位	3位	
		実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
林業 産出額	総計	42,864	385	30	0.9	長野	新潟	北海道
	木材生産	19,437	140	31	0.7	北海道	宮崎	岩手
	特用林産物	23,427	246	22	1.1	長野	新潟	福岡

(R2林業産出額)